

(報告) 第211回鶴見川舟運復活プロジェクト定例会

日時：令和7年11月22日(土) 18時から

場所：新羽地域ケアプラザ4F

経過

10月26日、稲の脱穀を予定していましたが、天候不良により延期しました。

10月30日、港北区社会福祉協議会より当会が表彰されました。

10月31日、新横浜公園の田んぼの柵に干してある稲に、雨除けのビニール掛けをしました。参加者4名。お疲れさまでした。

11月1日、舟による自然観察会を開催しました。参加者10名、関係者18名。
『タウンニュース』に取り上げられました。

11月4日、6日、予定していた脱穀は、参加者不足と雨天により延期しました。

11月15日、舟運丸の塗装を延期して、脱穀をしました。参加者12名。

本日の予定

- 議題**
- ① 舟運丸の塗装とシート交換の日程について →来春に
 - ② 今年度の残り事業について 助成事業は完了した
 - ③ 予算の執行状況、及び備品の購入や廃棄について トランシーバー等を購入する
 - ④ 来年度の事業と予算について
 - ⑤ その他、連絡事項など 表彰状を囲んで出席者で記念撮影をしました
- 1/31(土) 18:00～ 新横浜の芳香園にて新年会です

話題提供 「富士川舟運紀行」(小股昭さん) →次回に延期しました

次回の日程

(第212回) 令和7年12月20日(土) 18時から (次々回は1月31日)

場所：新羽地域ケアプラザ4F




社協より表彰



10月31日のビニール掛け




11月15日の脱穀



和舟を漕ぐ参加者ら＝同会提供

鶴見川の自然に触れる

児童ら、和舟乗船と観察会



マンゲツモチの稲に触れる児童(同)

日産スタジアム隣の新横浜公園遊水地で11月1日、自然観察会と乗船体験が行われた。鶴見川舟運復活プロジェクト(大谷佐一会長)の主催によるもので、当日は新羽、太尾地区の児童4人、大人6人の参加があった。同プロジェクトのメンバーが数年前に手づくりした和舟2艘が稼働。参加者らは息を合わせてオールを漕ぎ、舟を進ませた。参加した児童は「(乗船し)いつもと違う目線で自然を観察できて楽しかった」と感想を話した。

自然観察会では、メンバーの久保田幸子さんが講師となり、「一粒の種もみからどのくらい米粒が実るか」という題目で、実物に触れさせながら米や稲に関する講義を行った。聴講した児童は「学校の授業でお米を育てているので、学べてよかった」と話し、保護者の一人は「田植え、稲刈り、舟運と一連の体験で新羽がより好きになった」とコメントした。久保田さんは「子どもも大人も熱心に説明を聞いてくれて、楽しい時間になった」と話していた。